

同期・非同期式低床型デュアルトレッドミル

DLF-55/DLF-55E

高機能満載の歩行リハビリテーション用トレッドミル

世界初の薄型特許技術採用



DLF-55



DLF-55E 傾斜付

**最適な歩行訓練を実現していただくためにリハビリテーションの専門家との連携により誕生！
藤田保健衛生大学リハビリテーション部門との共同開発商品**

低床型/先進技術によって実現した走行面高55mmは、乗り降りの難しい麻痺患者さんの歩行訓練に最適です
低速対応/最低速度0.1km/hからの細やかで安定した速度設定、重度歩行障害にも適切に対応できます
最適走行面サイズ/長さ1850mm(傾斜タイプは1820mm)×幅320mm×2(左右分離)は、歩行訓練用として考え
抜かれた最適サイズです

ダブルベルト方式/片麻痺など歩幅の異なる患者さんに新しい最適な歩行訓練法を提供いたします
左右ベルト同期・非同期、正転・逆転/後ろ向きはもちろん、種々の歩行パターンに対応できます
傾斜機能/最大傾斜15%の歩行練習に対応できます(DLF-55Eタイプのみ)

PC制御/自動化、データ採取、ほかの診断機器との連携も可能になります
工夫された手摺/細やかに配慮した設計が、安全確保と臨床評価を容易にします